

## 第5回 にぎわい創出検討部会

令和4年5月26日(木) 16:00～

宇部市文化会館2階研修ホール

出席者 部会長 + 部会委員 16名

### 今回のWSの目的は？

**ウォーカブル**、即ち「居心地が良く歩きたくなる」まちをつくるためには、常盤通りだけで完結することはできない。雰囲気の良い通りをつくることは勿論のこと、エリア全体に行きたい目的地を増やしていかないとけない。

**真締川 + 新庁舎広場 + 井筒屋跡地 + 琴芝街区公園 + 商店街等**の地域特性を読み取り、それに沿ったエリア別のビジョンと方針を踏まえ、沿道建築(民間、公共)との関係を考える。

第5回となる本会では、集まった「**にぎわい創出検討部会メンバー**」と「**山口大学の学生**」が**5つの班**に分かれ、それぞれワークショップ形式で以下の議題について議論・発表を通して意見を共有し**空間利活用のデザイン検討**を行った。

### 今回のWSの議題

**7か所(公園的歩行空間)の活用イメージ・コンセプトは？**  
**そして必要な機能と設備は？**

# 01 7か所（公園的歩行空間）の活用イメージ・コンセプト

エリアビジョン検討内容を踏まえ、7つの場所について想定される時間・曜日による変化も含め、  
利用者のペルソナについて考え、空間整備・利活用を行う上でのコンセプトを考える。

そして、7か所のコンセプト・ターゲットを踏まえて必要な機能と装置について考える。



## 1 班 【 会社員のための空間に 】

現在、お昼時や夕方に散歩をする人が多い。高齢者の利用が多いと予想されるが、実際に誰が利用しているのか調査したい。新庁舎前なので、会社員のためのワークスペースが必要である。

## 2 班 【 飲食空間として活発なエリア 】

食のエリアだけではなく、文化・芸術の表現ができる場やランチタイム時に気軽に健康相談ができる「まちの保健所」となる空間。ランチタイムにキッチンカーの出店をしていくと良い。

## 3 班 【 ビジネス層に向けたワーキングゾーン 】

市役所に来る人は子供をおいて来る人や、仕事のために来る人が多い。打ち合わせのためのカフェやテラスがあると良いのではないかと。市が主導で設備が整ったコンテナを用意し、そこでチャレンジジョップのようなものができるのも良い。

## 4 班 【 人が集まりやすい空間 】

会社員のための昼食を販売するキッチンカーや利用しやすいトイレが新庁舎前の広場にあれば、人が集まりやすく、イベントの際も便利である。

### 求められる機能・設備

- ・ワークスペース
- ・wifi、コンセント、
- ・カフェ、コンテナ、シェアキッチン  
(市が主導で設備が揃っているもの)
- ・常設ステージ
- ・キッチンカー
- ・日陰
- ・水道
- ・トイレ

1 班の様子



### 1 班【建物を目立たせたい】

現在の様子として、カフェや花畑がある。トイレも整備されてある。現在あるものをいかし、高い木は植えず、バラなどの草花を植え、光をいれて、建物を目立たせたい。

### 2 班【新庁舎前とヒストリア前で合わせたコンセプト「ウォークブル起点」】

主に音楽の演奏ができるような屋外ステージができ、真締川側からのアプローチから流れが生まれるようなイメージ。常盤通りに面する、山銀の駐車場は現在もイベント時に広場として利用可能であるため、活用には現実的である。

### 3 班【歴史を学ぶ・まちのワークスペース】

ヒストリア宇部や周辺の橋のあたりのパンプキン爆弾跡など歴史的な要素が多い。そういった歴史を学ぶことができるスペースに。ヒストリア宇部の内部と併せて大学生のフリースペースやまちの誰もが気軽に工作をやりに来ることができるスペースに。

### 4 班【美術芸術をテーマに大人の空間】

高齢者が将棋をする場所やフラックと絵が描けるスペースに。将棋のためのテーブルやイスを設置し、高齢者がゆっくり過ごせる場所に。その周辺に喫茶店ができはじめるとなといい。

#### 求められる機能・設備

2 班の様子

- ・ 屋外展示会場
- ・ 花畑
- ・ 将棋ができるベンチと机



## 1 班 【ウォークアブル区域の中心】

ウォークアブル区域の中心になるので、屋内にウォークアブル管理事務所を設けたい。跡地にどんな機能が入るかで大きく変わってくる。また、授乳室が新庁舎しかないので、授乳室も設けたい。

## 2 班 【常盤通りへの目的地となる場所】

今後の旧井筒屋跡地の民間の介入によって変化するので難しいが、現状の課題としてストリートスポーツが自由にできる場がないため、若者が集まるような空間になってもいいのでは。加えて、都会的な空間を目指したマルシェなど、こだわりのある食品を販売する店舗を出店させるのがいいのでは。

## 3 班 【メインイベントの中心になるゾーン】

範囲が広く中心的な位置にあることからメインのイベントをするときに中心になる場所になるだろう。日常では旧井筒屋跡地に芝生ができるのであればゆったりできるソファを置き、くつろぐことができるようなスペースに。

## 4 班 【キッズエリア】

旧井筒屋の用途によって変わってくるが、安全なキッズのエリアになりそう。周辺の空間と一体的に広いエリアで子供が遊べる空間を考えていきたい。家にはないおもちゃがあるといい。

## 5 班 【外貨を産む場所】

企業誘致をするのはどうか。旧井筒屋の使い方は非常に重要である。  
商業的なスペースがいいのではないか。

3 班の様子



### 求められる機能・設備

- ・屋外のトイレ
- ・授乳室
- ・ウォークアブル管理事務所（屋内）
- ・給排水
- ・アンカー
- ・コンセント

## 1 班 【 安心安全な子供の遊び場 】

小学生以下と親子連れを利用対象者とし、安心安全な子供の遊び場に。

## 2 班 【 世田谷プレイパークのような空間 】

子供たちが自分で遊び場や遊び道具を作り遊べるような仮設的な空間と、常設的な冒険遊び（子供が自ら危険を察知しながら遊び成長する）ができる空間両方があると良い。

## 3 班 【 子供と子育て世代の新たな目的地 】

子供サイズのイスやテーブル、楽しく手洗いを学ぶことができるトイレ、授乳室、安全で遊べるための柵など子供に特化した設備を充実させて楽しく安全に遊べるスペースにすることで、子供やその保護者の新たな目的地となる。

## 4 班 【 子供のための場所に 】

旧井筒屋前とキッズラップ前、神社前、銀行前の4つの場所を一体に、広く子供が遊ぶことができる場所に。

### 求められる機能・設備

- ・ 子供に特化したもの
- ・ 安全で授乳室のあるトイレ
- ・ 通りにでないような柵
- ・ 自由に遊べる遊具

4 班の様子



## 1 班 【 商店街のイベントの中心に 】

現在、宇部の緑化フェアが行われている。今後、商店街に新しいステージが設置される予定で、商店街のイベントの中心に近い。

## 2 班 【 コミュニケーションの場 】

周辺美容院スタッフからお年寄りまで様々な世代が汲みにきているため、コミュニケーションの場の一つとして生かされるのでは。

## 3 班 【 子供のための遊び場 】

神社とは何もない時でも集まることができる場所であり、子供たちが気軽に遊ぶことができるようになってほしいため、キッズラップ前とつなげ、子供のための遊び場になると良い。

## 4 班 【 子供が遊ぶスペース 】

キッズラップ前と中津瀬神社前で何も置かれていない芝生スペースに。子供たちが自由に遊べる、走り回れるような空間に。

### 求められる機能・設備

・芝生

5 班の様子



## 1 班 【 自転車の利用者が停めやすい空間 】

現状として、琴芝駅の1日の利用者数が1400人いる。慶進の学生は琴芝駅に自転車を置いて通学しており、自転車での利用者が停めやすい空間があるといい。

## 2 班

基本的な情報をまだ把握しきれてないので、まだ考えるのが難しい。

## 3 班 【ぐるっと回って楽しい市場】

空き店舗が目立つゾーンのため、既存の店舗との関係によりコンセプトを決めるのではなく、通りに新たに一体を歩いて楽しいような様々なものが売られている市場を作るのが良いのではないかと。

## 4 班 【 個人で勉強・作業できる場所 】

単身世帯や学生も来なくなる空間にすることが重要ではないかと。開いた空間だけでなく、電話ボックスのような閉ざされた空間も必要。

### 求められる機能・設備

- ・ 駐輪場
- ・ 電話ボックスのような閉ざされた空間

討論の様子





## 1 班 【 森の中で勉強できる場所 】

現在、ボスティビルドには、1階と3階が開放スペースになっていて、勉強、休憩スペースがある。  
屋外でも勉強できるような空間に。

## 2 班 【 キッズラップ前、西京銀行建設地前合わせたコンセプト 「緩やかな関係性のある多世代交流拠点」 】

現在、子育て世代の遊び場がある。また、お年寄りも利用している。子供の遊び場の本拠地になりつつも、真締川周辺にも日によって遊べるような一時的な空間も用意してもいいのでは。

## 3 班 【市場・休憩所】

キッズラップ前、中津瀬神社前、銀行前とつなげて一体的に市場にすると楽しいのではないかと。  
また、ボスティビルド前と併せて、外に休憩できるスペースを設けるのも良いのではないかと。

## 4 班 【 勉強スペースに特化した場所 】

現在、高校生の利用者が多いことを強みにし、勉強に特化したスペースに。  
勉強しやすい机や電気系統等を外にまで広げ、整備する。

## 5 班 【送迎のしやすさ 明るい 安全 学生の学習のエリア】

気軽に立ち寄りやすい場所で、安全に学習することができる空間に。高校生のために駐輪場を整備する必要がある。喋れたり飲食ができたりする場所で、近くに塾を出すとよいのでは。

発表の様子

### 求められる機能・設備

- ・ free wifi ・ 街灯
- ・ カメラ (安全管理)
- ・ 親が待てる場所 ・ 駐車場裏
- ・ 学生が利用しやすい駐輪場
- ・ コギコギ
- ・ 学テーブルとイス
- ・ 高い樹木



エリア

1 ~ 7

全体

## 1 班

全体に共通して設置すべき機能として、トイレや電源、勉強スペースなど日常とイベント時の利用者の快適さをもとめる案が多く挙げられた。近くの建物の利用者の目的や動線を考えることで各地点で特徴のある公園化ができると思った。

## 2 班

統一感を出すためにイルミネーションの色を揃える、さりげなくエヴァを想起させるような特色を散りばめる。

## 3 班

通り全体で、十分な給排水、コンセント、アンカー、バックヤードや倉庫がイベントやキッチンカーのために必要である。

## 4 班

キッチンカーの出店情報やイベント日時を確認できる1つのサイトが必要。また、アーバンスポーツは、近くの公園に常設したり、魚市場を利用したりするとよい。

## 5 班

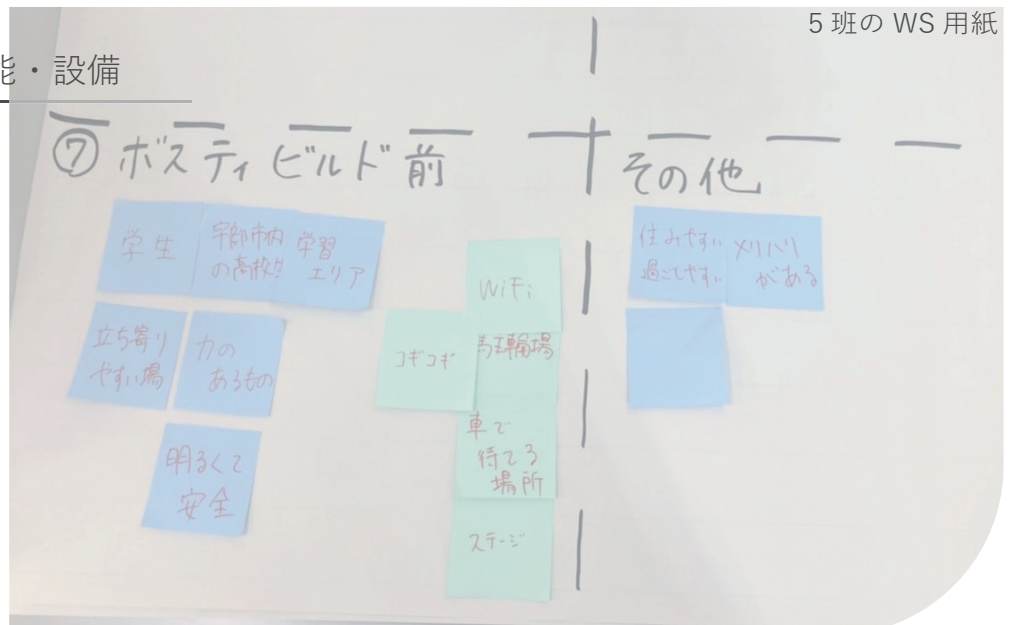
住みやすい、過ごしやすい街にしていきたい。

毎日人がたくさんいるのではなく、メリハリのある空間にし、場所ごとの個性が必要ではないか。

### 全体に求められる機能・設備

- ・トイレ
- ・電源
- ・十分な給排水
- ・アンカー

5 班の WS 用紙





## ワークショップ中に出た、取り組みや事例紹介

### 01 キッズキッチン @スマーク伊勢崎

子供用のテーブルや椅子、手洗い場、ごみの分別コーナーなど子連れに優しい設備があるスマーク伊勢崎内のフードコート。手洗い場では手洗いの順番が楽しく学べる工夫がされている。



△ 参考 URL



### 02 1平方メートルの家 @ベルリン

ベルリンを拠点とする hartzlVmöbel の建築家 vanbole-mentzel は、「1平方メートルの家」を考案した。これは、1平方メートルの床面積を住居、移動式キオスク、または追加の部屋として使用できる、自分でできる構造です。



△ 参考 URL



### 03 コミュニティナース

まちの中で顔を合わせて何気ない会話交わす。白衣は着ていない。病院でなくまちの中にいる。地域の人の暮らしの身近な存在とし、人とつながりまちを元気にする、コミュニティナース。



△ 参考 URL



### 04 プレーパーク世田谷

欧州の「冒険遊び場」をヒントに、禁止事項を減らし、焚火、穴掘り、木登り、水遊び、工作など、子どもが「やりたい」ことを実現できる遊び場を目指したプレーパーク。小学生はもちろん、赤ちゃん、幼児、中高生からシニアまで幅広い世代に愛されている「地域の遊び場」。

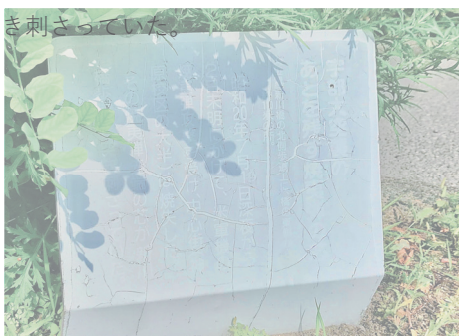


△ 参考 URL



### 05 焼夷弾 @新川橋

第二次世界大戦中の昭和20年7月1日深夜から2日未明にかけて、米軍機の焼夷弾攻撃を受けて宇部市中心街（神原校区の大半）は焼失した。その焼夷弾先端の芯がヒストリア宇部横の新川橋歩道に突き刺さっていた。



### 00

関連する事例等あればここで共有します